

# 貿易投資相談ニュース

2026年2月 Vol.289

多摩信用金庫 海外事業支援部 住所：〒190-8681 東京都立川市緑町3-4

<https://www.tamashin.jp/>



## 今月の見出し

1. 世界の主要ニュース
2. たましん公表外国為替相場
3. 【たましん駐在員レポート】～タイを訪問して～



## 世界の主要ニュース

### 2025年のGDP成長率8.02%を記録し、顕著な経済成長を達成（ベトナム）

ベトナム統計局は2026年1月5日、2025年の実質GDP成長率（推計値）を前年比8.02%と発表しました。2011～2025年の15年間で、2022年に次いで高い成長率を記録しました。1人当たりGDPは5,026ドル（前年比326ドル増）相当と推定され、初めて5,000ドルを上回りました。通年の産業別の成長率は、農林水産業が3.78%、鉱工業・建設業が8.95%、サービス業が8.62%でした。農林水産業は、中部の台風・洪水被害など自然災害の影響を受けながらも、安定した水準を維持

しました。鉱工業・建設業のうち、製造業の成長率は9.97%でした。2025年の輸出額は4,750億ドル（前年比17%増）と大きく伸びました。サービス業は、業務サービス、文化・レジャー、運輸・倉庫、ホテル・飲食の成長率が10%を上回りました。ベトナムは2026～2030年にGDP成長率10%以上を目指す方針を掲げており、国会では2026年の目標を10%以上と定めています。ベトナムは高い経済成長を続けており、世界的にも注目されています。

### 2025年の実質GDP成長率は5.0%達成（中国）

中国国家统计局は2026年1月19日に2025年の実質GDP成長率が5.0%だったと発表し、政府目標の5.0%前後を達成しました。主要経済統計をみると消費（小売総額）は前年比3.7%増となり、内訳をみると商品小売額は3.8%増、飲食業収入は3.2%増となりました。買い替え補助金政策の影響も一部あり、通信機器（20.9%増）、文具・事務用品（17.3%増）、スポーツ・レジャー用品類（15.7%増）が前年比で増加

しました。一方、投資（固定資産投資）は前年比3.8%減となり、減少に転じました。内訳をみると、インフラ投資は2.2%減、製造業投資は0.6%増となりました。低迷が続いている不動産開発投資は17.2%減となり、新築不動産販売面積は8.7%減、販売金額は12.6%減でした。GDP成長率の政府目標は達成しているものの、景気に不透明感のある中国経済については今後も注視していく必要があります。

### 関税還付を全面電子化へ（米国）

米国税関・国境警備局（CBP）は2026年1月6日、税関の電子申請システム（ACE）の改修が終わり、関税還付の全面電子化が2月6日から始まると発表しました。ドナルド・トランプ大統領は2025年3月25日、連邦政府による支払いや給付金の支給、税の還付などについて紙の小切手の発行を停止し、電子決済へ切り替えるよう指示する大統領令を発表しました。大統領令では、電子決済への移行を同年9月30日まで

に行うよう指示していましたが、CBPはACE改修の必要性などを理由に、全面的な切り替え時期を延期していました。トランプ政権2期目が発足して以降、複数の関税措置が並行して発動されたことから通関実務が混乱し、関税還付に通常よりも時間がかかっているといった声が日系企業から聞かれています。今回の電子化により関税還付が迅速化され、状況の改善が見込まれています。

## たましん公表外国為替相場

（2025年12月1日～2026年1月6日、TTSレート、単位：円）

日付	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/15	12/16	12/17
米ドル	156.87	156.70	156.84	156.30	156.12	156.24	157.03	157.88	156.87	156.71	157.02	156.12	155.69
ユーロ	182.37	182.20	182.74	182.56	182.18	182.29	183.08	183.87	183.84	184.30	184.53	183.76	183.26
日付	12/18	12/19	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/29	12/30	1/5	1/6	最安値	最高値
米ドル	156.61	156.85	158.62	157.75	157.22	156.92	157.51	157.47	157.56	158.29	157.71	155.69	158.62
ユーロ	184.19	184.19	186.16	185.97	185.73	185.20	185.94	185.78	185.79	185.51	185.03	182.18	186.16

最新の外国為替相場はたましんホームページをご確認ください。（[https://www.web-tamashin.jp/ex\\_rate/](https://www.web-tamashin.jp/ex_rate/)）



# 【たましん駐在員レポート】

## ～タイを訪問して～

第10弾となる今回はタイの基本情報や最近の経済情勢等の調査を行い、筆者の視点でご紹介いたします。



### 基本情報

タイの正式名称はタイ王国であり、面積は約 51 万km<sup>2</sup>（日本の約 1.4 倍）、人口は約 6,605 万人、首都はバンコクです。自国通貨はバーツで、公用語はタイ語です。宗教については仏教徒が国民の 9 割以上を占めています。

### タイの特徴

タイの特徴は、親日国であるという点です。タイは王室国家であり、タイの人たちはその王室を敬う気持ちが強いといわれています。こうした背景から王室と親交が深い日本に対して親しみを持っている人が多くいます。日本の皇室がタイの王室と親密な関係を築いているのは日本の王室がたびたびタイを訪れ、親交を深めていたことによる影響も大きいといわれています。その他にも日本のアニメや映画、日本食や化粧品など数多くのものが人気であり、日本の文化がタイでは浸透しています。

他方で、タイは伝統的に全方位外交を基本としつつ、主要国との距離を国内外の事情に応じて変更する柔軟な外交政策を展開しており、基本的な姿勢は最近でも変わっていません。そのうえで日本だけでなく、ASEAN 諸国との連携、米国、中国といった主要国との協調外交を基本方針としている点もタイの特徴といえます。

本ニュースは情報提供のみを目的としています。

施策実施等に関する最終決定は、ご自身で判断されるようお願い致します。また、これらの情報は当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて作成されていますが、その正当性・完全性につきましては当金庫が保証するものではありませんのでご了承ください。

## 最近の経済について

タイの実質 GDP 成長率について、2025 年は 2.0%、2026 年は 1% 台まで減速するとの見方が広がっており、タイ経済は低調にあるといえます。米国の関税政策による輸出の鈍化や訪タイ客数の減少による影響から製造業・観光業が不調です。その他、国内で問題となっているのが、家計債務が高水準であるという点です。タイの家計債務は GDP 比で 8 割を超えており、経済成長の足枷となっています。タイでは個人での借入が一般化しており、住宅ローンだけでなく、消費ローン（家具、娯楽、旅行など）等の家計費のための借入割合が大きいといえます。こうした背景をもとに最近では国内での自動車販売が低迷しており、銀行の融資審査が厳格化され自動車ローンを組みづらい状況が続いています。特にタイは自動車産業が GDP の 1 割を占めており、家計債務の問題がタイ経済において大きな影響を与えています。

### 「縁結び」EN-MUSUBI のご案内

バンコクでは、信金中央金庫がテストマーケティングスペース「縁結び」EN-MUSUBI を運営しています。同所ではタイ国内での販路開拓にご興味をお持ちの事業者様を対象として、現地でのテスト販売を行っており、日本産の食品・日用品・インテリア雑貨等の商品の募集を行っています。詳細については多摩信用金庫 海外事業支援部までお問い合わせください。



< 「縁結び」EN-MUSUBI >

海外事業支援部 田中  
TEL:042-523-9190

本ニュースのデジタル版はこちら

